

ジュニア・レポート Vol.7

愛知県稲沢市立高御堂小学校
実施日：2018年11月26日(月)

学校紹介

東京2020オリンピック・パラリンピックフラッグツアー小中学校訪問の愛知県での訪問先は稲沢市立高御堂小学校。

2018年11月26日、全校児童183名の高御堂小学校に、フラッグを持ってきたのは、愛知県出身でアトランタ1996大会でバスケットボールに出場した、村上睦子（むらかみちかこ）さんです。

オリンピックフラッグを振った6年生の天津蓮（おおつれん）さんとパラリンピックフラッグを振った同じく6年生の野田愛紗（のだあいさ）さんにジュニア・レポーターとして、稲沢市の紹介や村上睦子さんにインタビューしていただきました。



自己紹介

高御堂小学校6年の天津蓮（右）です。児童会長をやっています。スポーツはビーチボールバレーという競技をやっています。ビーチボールを使ったバレーボールで、通常のバレーボールよりも打った時のボールに変化がつかます。

6年の野田愛紗（左）です。学級委員をやっています。学校外ではソフトボールチームに所属しています。ソフトボールの楽しいところは、チームのみんなと協力してやるところと、ホームランを打てた時です。ポジションはピッチャーです。



稲沢市について

(大津) 稲沢市はギリシャのオリンピア市と姉妹都市として交流があり、聖火の採火式でギリシャに行ったり、市役所にトーチが飾ってあったり、オリンピックを身近に感じられる街です。また、「はだか祭り」が有名で、とても迫力のあるお祭りです。

(野田) 食べ物では、銀杏の生産量が日本一です。銀杏を使った特産品が多くあり、私は銀杏きしめんが好きです。

フラッグを振った感想



(大津) 少し重く感じました。また、みんなの前で振ったので緊張しました。

(野田) 私はオリンピック選手を目指しているので、選手になったみたいで嬉しかったです。

村上睦子さんへの質問

(大津) バスケットボールの練習でつらいと思ったことはありますか

(村上) 体力作りがつかないです。バスケットボールは体力勝負なので、高校生の時は4km競争をしたり、実業団の時は山道を走っていました。

(野田) これまで様々な大会でシュートを決めてきたと思いますが、中でも決まって一番嬉しかったシュートはどんな時ですか

(村上) 嬉しかったものはたくさんありますが、中でも一番はアトランタ1996オリンピックへの出場を決めた台湾との試合での最後のフリースローです。その時は日本が勝っていましたが、バスケットボールはほんの数秒で逆転されるスポーツなので、大事な場面で決めることができとても嬉しかったです。

東京2020大会に期待すること

(大津) テレビ観戦して選手を全力で応援したいです。

(野田) 尊敬しているソフトボールの上野由岐子（うえのゆきこ）選手を応援したいです。